

2022年度 第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和4年12月23日付けで、「2022年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2023年1月～6月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関する予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2023年1月～6月）〉

●海況（対象海域：房総～常磐南部海域）

見通し：房総～常磐南部海域は「平年並」～「高め」で推移する。

●マイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：前年並～上回る。

(2)漁期・漁場：まき網の漁場は、1月は常磐南部～三陸南部海域、2月～5月は犬吠埼沖～常磐南部海域、6月は犬吠埼沖～三陸南部海域で形成され、6月下旬には道東海域でも形成される。定置網では、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。

(3)魚体：10 cm～15 cm 前後（1歳魚）、13 cm～17 cm 前後（2歳魚）、15 cm～20 cm 前後（3歳魚）、17 cm 以上（4歳魚以上）。

●カタクチイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：房総海域では前年を下回る。三陸南部海域では前年並。常磐海域、三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。道東海域では主たる漁獲対象とならない。

(2)漁期・漁場：房総沿岸海域の2そうまき網では期を通じて散発的に漁獲される。三陸海域の定置網では1月まで漁獲される。常磐～房総海域、道東海域の1そうまき網の主な漁獲対象にならない。

(3)魚体：7 cm～11 cm の1歳魚を主体に、9 cm～13 cm の2歳魚も漁獲される。

●マサバ及びゴマサバ（対象海域：犬吠～三陸海域 対象漁業：まき網、定置網、底曳網）

(1)来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年を下回る。5歳魚は前年を上回る。6歳以上は前年を上回る。マサバはまき網では低調であった前年並、定置網、底曳網では前年を下回る。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並。

(2)漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網では1月、2月および4月以降に漁獲される。三陸海域の底曳網では期を通じて漁獲される。

(3)魚体：マサバは、期を通じて22 cm～31 cm（3歳以下）主体に、1月、2月および4月以降は28 cm～37 cm（4歳以上）も漁獲される。

※詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ (<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/index.html>) に掲載されております。